

(菓子營業二種以上ヲ兼ヌルモノハ一枚ニ併記スヘシ)

(第二號)

菓子製造届書

越高何程

此見積代金

一千菓子

此見積代金

越高何程

此見積代金

一蒸菓子

此見積代金

越高何程

此見積代金

一雜菓子

此見積代金

見積代金合計何程

右從何年何月何日至何年何月何日製造高前記之通相違無御座候也

(越高見積金モ合算スヘシ)

何程 幾斤幾貫目何個ノ類以下之ニ做フ

何程

何程

何郡何村何番戶

菓子製造人

家號何屋(何々軒)

何之誰印

年月日

郡區長宛

菓子賣上金高届書

一賣上代金

但營業人へ賣渡シタル分

(小賣兼業ノ者ハ)

一賣上代金

但小賣ノ分

賣上代金合計

右從何年何月何日至何年何月何日賣上金高前記之通相違無御座候也

何郡何村何番戶

菓子製造人

家號何屋(何々軒)

何之誰印

年月日

郡區長宛

●縣令第三十四號 明治二十二年六月二十八日

明治十三年甲第百一號布達有書歐及明治二十年縣令第六十七號同上ヲ廢止ス

●縣令第三十八號 明治二十二年八月一日

明治十七年本縣甲第百十九號布達賣藥營業人營業者心得書第十四條中賣藥營業人賣藥行商元帳ノ次へ(賣藥印紙買入帳)ノ一項ヲ加へ第十五條左ノ通改正シ第十六條以下刪除ス第十五條 賣藥印紙買入帳ハ証券印稅規則金錢物品通帳ノ項ニ據リ印紙ヲ貼用シ買入ノ都度印紙賣捌人實印又ハ店印ヲ押捺セシムヘシ

明治何年何月

賣藥印紙買入帳

何縣何國何郡何町何番戶  
賣藥製造人  
之  
某

買入月日	種	類	員	數	稅	金	買入先住一所氏名
何月何日	角形	壹厘	何十枚	何拾何錢			何國何郡何町何番戶 印紙賣捌人 何 某印
	長形	壹厘	何十枚	何拾何錢			

何月何日	角形	貳厘	何拾枚	何拾何錢	何國何郡何町何番戶 印紙賣捌人 何 某印
	長形	貳厘	何拾枚	何拾何錢	

●縣令第五十號 明治二十二年十月十日

明治十九年本縣甲第五號布達繸絲業組合準則中第十條左ノ通改正ス

第十條 組合及取締所ニ關スル費用收支豫算組合會取締所ハ組長會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

●縣令號外 明治二十二年三月二十三日

明治二十一年縣令號外養蠶傳習場規則第十條中滿二十年以上トアルヲ滿十七年以上ト改ム

●告示第十一號 明治二十二年二月二十七日

明治二十二年

營業之部

千四百四十三

第三回内國勸業博覽會出品ノ儀ハ本縣委員ニ於テ之ヲ取扱ヒ會務ヲ處理セシムヘキニ付テハ明治二十年十二月農商務省告示第十一號該會規則ニ據リ出品ヲ望ムモノハ左ノ各項ニ從ヒ出願スヘシ

第一項 規則第九條ノ出品願ハ別紙雛形ニ據リ二通出品目錄ハ同規則中ノ甲號書式ニ據リ三通ヲ調製シ本年五月三十一日限縣廳ニ差出ヘシ

第二項 第二部ノ出品願書ハ前項雛形ニ據リ三通ヲ調製シ本年十月三十一日限縣廳ニ差出シ其出品目錄ハ同會事務局ニ於テ現品ノ鑑別ヲ得タル上明治二十三年一月十五日限差出ヘシ而シテ其現品ハ本年十二月十五日限同會事務局ニ宛テ發送スルハ規則第十條ニ定メタルカ如シ

第三項 出品解說書ハ規則中乙號書式ニ據リ三通ヲ調製シ明治二十三年一月十五日限縣廳ニ差出ヘシ第四項出品現品ハ本年十二月三十一日限追テ本縣委員ノ指定スル場所ニ宛テ發送スヘシ

第五項 出品ハ本縣委員ニ於テ十分注意ヲ加フヘシト雖モ止ヲ得サル事柄ニヨリ生シタル破損紛失等ハ其責ニ任セサルヘシ

第六項 規則第二十條ニ掲クル列品寫真填寫等ハ出品主ニ代リ本縣委員之ヲ諾否スヘシ

第七項 出品現品ヲ期限内ニ差出サ、ルモノハ出品絶望ノ者ト見做シ出品願書出品目錄等ヲ取消スヘシ然ル上ハ何等ノ事情ヲ以テ申出ルモ決シテ採用セサルヘシ

第八項 出品允許ノ上ハ出品ノ交換代價ノ變更等後日何等ノ事情ヲ以テ申出ルモ決シテ採用セサルヘシ

第九項 出品願書差出期限後ハ如何ナル事情ヲ以テ申出ルモ決シテ採用セサルヘキニ付期限ヲ愆ラサル様願出ヘシ

第十項 各郡區役所々轄内ニ於テ一名ツ、ノ出品人總代ヲ撰定シ明治二十三年一月三十一日限其住所氏名ヲ縣廳ニ届出ヘシ

第十一項 出品人總代ハ開會ニ先チ出京シ本縣委員ヨリ協議ノ事務ヲ處辨スヘシ開會中都合ニヨリ交代スルハ妨ケナシト雖モ開會後出品引拂濟マテハ必ス滯京スヘシ

(別紙) 第三回内國勸業博覽會出品願

私(當會社當組)儀明治二十年十二月農商務省告示第十一號第三回内國勸業博覽會規則ニ據リ別紙目錄ノ通出品仕度尤本年二月二十七日本縣告示第十一號ノ各項ニ從ヒ違背仕間敷候間出品御許可相成度此段奉願候也

何縣何郡何町何番戶  
本貫族籍  
何業 何  
何縣何郡何町何番戶  
某印  
年月日

愛知縣知事何某殿

前書之通願出候也

年月日

戸郡區

長印

何業何

組社

何長

組會社  
組社印

某印

●告示第九十七號

明治二十二年九月二十六日

明治十九年農務省令第九號ニ據リ蠶種検査所名古屋區及寶飯郡御油村ニ設ケ左ノ日割ヲ以テ來ル十月一日ヨリ蠶種検査ヲ施行ス春夏秋蠶種ニシテ販賣用種ノ製造ニ用フル原種ハ此際盡ク検査ヲ受ケヘシ

但受檢人ハ代人ヲ以テ検査ヲ受クルモ妨ケナシ

検査所名	日割	郡區名
名古屋検査所	自十月一日至十月六日 自十月七日至十月十二日 自十月十三日至十月十六日	名古屋 愛知 東春日井 西春日井 丹羽 葉栗 中島 海東 海西 知多 碧海 西加茂

御油検査所

自十月一日至十月六日	幡豆 額田 東加茂 北設樂
自十月七日至十月十二日	南設樂 寶飯
自十月十三日至十月十八日	渥美 八名

●告示第百五號

明治二十二年十月十日

賣藥營業ニ關スル願届ヲ請實行商ハ自今其地市役所町村役場ヲ經テ直ニ所轄收稅部出張所ヘ差出ヘシ

●告示號外

明治二十二年十月十日

名古屋市

但市役所町村役場開設ハ元區役所戸長役場ヲ經山スヘシ  
所得稅菓子製造稅ニ關スル願届ニシテ名古屋市ニ係ル分ハ自今市役所ヲ經テ所轄收稅部出張所ヘ差出スヘシ  
但市役所開設マテハ元區役所ヲ經山スヘシ

●會計之部

●乙第十一號

明治十五年一月二十日

郡區役所

戶長役場

明治十四年<sup>甲</sup>乙第二百二十三號ヲ以歲入科目及ヒ納稅切符等小科目記載ノ儀相達候所今般右歲入科目ノ内別冊之通加除更正相成候條此旨相達候事

(別紙)

官省院使廳府縣

第四號

明治十四年<sup>甲</sup>第三十四號達歲入科目ノ内左ノ通加除更正候條此旨相達候事

太政大臣三條實美

明治十五年一月十二日

一地稅小科目市街地稅ノ次(鹽田稅)ノ一科目ヲ設ケ山林原野牧場稅ノ科目ヲ(山林原野牧場及ヒ雜種地稅)ト改ム

一郵便稅ノ小科目外國郵便遞送料ノ項ヲ刪除ス

一大科目賣藥稅ヲ(賣藥營業稅)ト改メ該小科目ノ二項ヲ刪除ス

●乙第四號

明治十六年一月十六日

郡區役所

戶長役場

民事裁判上身分限等ニ付財產入札拂代是マテ現金ヲ以名古屋始審裁判所并治安裁判所へ

回送之處右ハ照會之趣モ有之候ニ付以來三ツ井銀行預リ切符又ハ郵便爲換等ヲ以テ送致スヘシ此旨相達候事

但切符又ハ爲換手數料ハ物品買受タル者即チ金員上納者ヨリ支辨セシムヘシ

●乙第十六號 明治十六年二月五日

郡區役所

明治十三年當縣乙第百五十九號達諸貸下金取扱順序甲圖中右現金何月何日ノ下「何地」ノ二字ヲ增補候條此旨相達候事

●乙第六十五號 明治十六年四月十八日

郡區役所

明治十五年時丁第八十二號達經費科目條例別紙之通改定候條來十六年度ヨリ施行スヘシ此旨相達候事

但經費勘定帳及決算帳ハ本文科目ニ依リ編製スヘシ

(別紙)

郡區經費科目條例

第一條 經費科目ヲ分ツテ大中小ノ三科目トス

第二條 每大科目ヲ分ツテ中科目ヲ置キ每中科目ヲ分ツテ小科目ヲ置キ小科目中附スルニ細節ヲ以テス

第三條 中科目以上ノ費額ハ彼是流用スルヲ許サス若シ止ムヲ得サル事故アリテ中科目ノ金額ヲ彼是流用セントスル時ハ明治十三年ハ本縣乙第二十七號達書式ニ倣ヒ其事由ヲ詳具シ伺出ヘシ  
第四條 各科目ハ別紙ノ通之ヲ定ム小科目ハ每歳費用ノ有無ニ依リ取捨スルヲ得ヘシ  
第五條 經費中許可ヲ經テ施行スヘキ條件ハ總ヘテ從前ノ通心得ヘシ

郡區役所々管經費科目表

大科目	中科目	小科目	細節
某郡區役所	俸給		
	雜給	郡區書記月給	備生給料モ此内ニ編入ス
	旅費		郡區書記以下旅費及急行人力車備費
	備給		給仕小使給料備入夫賃消防夫足留賃枚數當リヲ以テ給スル寫字料

滿年賜金	郡區書記滿年賜金 (實費ニ就キ下附スルヲ以テ豫算帳ニハ掲載ニ及ハス)
賞與	郡區書記及傭生事務勉勵賞與其他恩賜金 (實費ニ就キ下附スルヲ以テ豫算帳ニハ掲載ニ及ハス)
手數料	爲換方給料爲換手數料新聞紙廣告料等
廳費	備品椅子テーブル書籍出納帳簿等
消耗品	薪炭筆墨紙等
郵便稅	郵便稅及郵便爲換料
電信料	電信料及ヒ電信持込ニ賞
運搬費	現金及物品公文遞送賃車馬船傭料荷造用品代等
賄費	宿直並居殘賄料及臨時辨當料等
檢丁費	徵兵下檢査所ノ諸費及檢丁旅費等
印刷費	活版料製本費界紙摺物代等
雜費	地所家屋借上料及協議費

戶長役場	俸給	戶長給料
	雜給	旅費
		賞與
		傭稅
	廳費	職務取扱諸費
		迎搬費

戶長以下旅費  
戶長事務勉勵  
(賞與實費ニ就キ下附スルヲ以テ豫算帳ニハ掲載ニ及ハス)  
筆生給料  
常使及臨時傭人夫賃需用費郵便稅等  
大藏省爲換方設置無之郡ヨリ右爲換方へ國稅運搬賃

●乙第百八號

明治十六年六月八日

郡區役所

戶長役場

明治十四年乙第百二十三號當縣達歲入科目ノ内左ノ通公達ヲ以追加相成候條此旨相達候

明治十六年

會計之部

千五百五十三

事

酒造稅中造石稅ノ次へ  
自家用料酒鑑札料  
會社稅中株式取引所ノ次へ  
米商會所仲買人稅  
株式取引所仲買人稅

●乙第百十二號 明治十六年六月十六日

郡區役所

地方稅經濟ニ屬スル出納閉鎖期限左之通和定候條明治十五年度ヨリ施行可致此旨相達候事

第一條 收入支出決算ハ十九ヶ月間ヲ以テ完結スルヲ程度トス故ニ會計課ニ於テハ會計年度經過ノ後四ヶ月則チ毎年十月ヲ限リ出納ヲ閉鎖スヘシ

第二條 諸收入金ハ渾テ閉鎖期限内ニ調理シテ本廳へ完納スヘシ

第三條 地方稅支辨ニ屬スル諸經費ヲ請求シ或ハ其殘餘ヲ還納スル等ハ總テ閉鎖期限内ニ於テ結了スヘキモノナレハ前以其順序ヲ爲スヘシ

第四條 出納閉鎖ノ期ニ際シ若收支ノ決算ニ至ラサルモノアルキハ其事由ヲ詳悉シテ伺出ヘシ

第五條 出納閉鎖後ノ若シ會計課ニ於テ決算檢査上ヨリ差額ヲ生スルコトアレハ爾後三ヶ月以内即チ翌年 月右差額ニ限リ出納スルヲ得ヘシ

●乙第百二十九號 明治十六年七月十二日

郡區役所 戶長役場

遊船稅金ハ歲入科目中「浮漁船并海川小回船稅」へ編入送納候儀ト可心得旨大藏省ヨリ達有之候條此旨相達候事

●乙第六十五號 明治十七年四月八日

郡區役所 戶長役場

明治十四年 郡區縣乙第百二十三號達中歲入科目郵便稅ノ次へ訴訟用印紙料ノ大科目ヲ增加候條此旨相達候事

●乙第百號 明治十七年五月三十日

郡區役所 戶長役場

明治十四年 郡區縣乙第百二十三號達歲入科目中地稅ハ十六年度ヨリ證券印紙諸稅ハ十七年度ヨリ別紙之通更正相成候條此旨相達候事

(別紙)

地	大科目	租	田租	小	科	目
		畑租				



郡村宅地租
市街宅地租
鹽田租
鑛泉地租
池沼山林原野雜種地租
地券證印稅
延納年賦
證券印紙
印紙稅
手形用紙稅
押印稅

●乙第九十號 明治十七年十一月一日

郡區役所 戶長役場

明治十四年當縣乙第百二十三號達中歲入科目板權免許料ノ次ニ商標登錄手数料ノ大科目ヲ增加候條此旨相達候事（明治十八年六月乙第七十五號ヲ以テ商標登錄手数料ノ儀歲入科目ニ增加）

●乙第二百號 明治十七年十一月十日

郡區役所 戶長役場

會計年度ノ儀明治十九年以降其年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテテ會計一周年度ト改定候條此旨相達候事  
但來明治十八年度ハ同年七月一日ヨリ翌年三月三十一日マテ九ヶ月ヲ以テ一周年度ト

ス

●乙第七十九號 明治十八年七月一日

郡區役所 戶長役場

明治十四年當縣乙第百二十三號達歲入科目中商標登錄手数料ノ次ニ專賣免許料ノ大科目ヲ增加候條此旨相達候事

●乙第八十二號 明治十八年七月六日

郡區役所 戶長役場

明治十四年當縣乙第百三十三號達歲入科目中度量衡稅ノ次ニ左ノ大小科目ヲ增加候條此旨相達候事

大科目	小科目
醬油稅	營業稅
	造石稅
菓子稅	營業稅
	製造稅

●乙第八十四號 明治十八年七月十日

郡區役所 戶長役場

歳入科目別表之通相定十九年度ヨリ施行候條此旨相違候事  
但同年度ヨリ從來ノ大科目小科目ヲ改メ款項目トス

歳入科目表

内地税	第壹部	目
地租	田租	
	畑租	
	郡村宅地租	
	市街宅地租	
	鹽田租	
	鑛泉地租	
	池沼租	
	山林租	
	原野租	
	雜種地租	
	地券証印稅	
	國立銀行稅	
	証券印稅	
	小切手押印稅	

訴訟用印紙料	手形用紙稅
北海道物産稅	
魚介稅	
海藻採藻營業稅	漁業採藻者入頭又ハ漁網ニ賦課スルモノ
米商會所稅	
仲買人稅	
株式取引所稅	
酒造稅	株式取引所稅
	仲買人稅
	釀造酒稅
	蒸溜酒稅
	再製酒稅
	酒造免許稅
	自家用料酒鑑札料
醫藥營業稅	
烟草稅	
	印稅
	製造營業稅
	仲買營業稅

權衡稅	樹量稅	尺度稅	荷車稅	牛車稅	人力車稅	馬車稅	遊船稅	小船稅	日本形大船稅	西洋形帆船稅	蒸氣船稅	船稅	營業鑑札料	營業紙稅	印紙稅	出賣鑑札料	仕入鑑札料	營業鑑札料	小賣營業稅
									日本形船積石五十石以上 日本形船積石五十石未滿及舢舨船小回船				再渡及書換料共			全	全	再渡及書換鑑札料共	

千百六十一

牛馬買賣免許稅	牛馬買賣免許稅	鈇徽免許稅	鈇徽免許稅	職徽免許稅	遊徽免許稅	免狀再渡及書換手續料	海關稅	輸入稅	輸出稅	過年度收入	項以下ハ既定ノ科目ヲ用ユルモノトス	第 二 部	太政官	官報賣下代	官有物貸下料	官有物拂下代	官有物貸下料	物品貸下料	建物貸下料	建物拂下代	物品拂下代	辨償金
---------	---------	-------	-------	-------	-------	------------	-----	-----	-----	-------	-------------------	-------	-----	-------	--------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-----

明治十八年 會計之部

千百六十一

毀損紛失物品辨償金	雜收入	罰	返納金	前金渡ノ者年度後返納之分及年賦返納金共
違約金	罰	返納金	前金渡ノ者年度後返納之分及年賦返納金共	
外務省	手數料	緬外旅券手數料		
		船離報告及証書手數料		
		清國諸港出入手數料		
		清國內地旅行免狀手數料		
官有物貸下料	地所貸下料	上海領事館地所貸下之分		
	建物貸下料			
	物品貸下料			
官有物拂下代	建物拂下代			
	物品拂下代			
辨償金	毀損紛失物品辨償金			
	訴訟入費償却金			
	違約金			

內務省	雜收入	罰	返納金	前金渡ノ者年度後返納之分及年賦返納金共
	手數料	醫師開業免狀手數料		
		醫師開業試驗手數料		
		藥品檢查手數料		
		書籍發賣檢查手數料		
官有物貸下料	建物貸下料			
	物品貸下料			
官有物拂下代	建物拂下代			
	物品拂下代			
懲罰及沒收金	沒收品及警察官吏拾得品賣却代金			
	過沒收金			
辨償金	毀損紛失物品辨償金			

大藏省	雜收入	訴訟入費償却金	
	違約金		
	罰俸		
	返納金	前金渡之者年度後返納ノ分及年賦返納金共	
	電信料割戻		
	警察官吏拾得金		
	盜難品賠償金		
官業益金	造幣局益金		
手數料	船難報告及證書手數料		
	海關諸證書手數料	出入貨物證書借庫預リ貨物證書 船難證書 船難報告 諸式證書證書	
	海關出入免狀數手料	入港出港	
官有物貸下料	建物貸下料		
	物品貸下料		
官有物拂下代	建物拂下代	年賦收納之分	
	物品拂下代	全上及稅關沒收品 買上品、賣却代共	
懲罰及沒收金	罰金	各稅關於テ徵收スル分	

千百六十四

陸軍省	官業益金	東京砲兵工廠	
	大坂砲兵工廠		
官有物貸下料	地所貸下料		
	建物貸下料		
	物品貸下料		
官有物拂下代	地所拂下代	年賦收納之分共	
	建物拂下代		
	物品拂下代		
貨幣交換差増	雜收入		
	罰俸		
	返納金	前金渡之者年度後返納之分及年賦返納金共	
	電信料割戻		
	稅關倉庫影料		
	炭礦拂下代金利子		
	盜難品賠償金		
	毀損紛失物品辨償金		
	訴訟入費償却金		
	違約金		
	過料全		

明治十八年

會計之部

千百六十五



農商務省	雜收入	罰俸	前金渡ノ者年度後返納之分及年賦返納金共
		返納金	
		小銃及付屬品修理代	
		藥價收入	
		盜難品賠償金	
	文部省		
	官有物貸下料	建物貸下料	
		物品貸下料	
	官有物拂下代	建物拂下代	
		物品拂下代	
	辨償金	學資辨償金	
		毀損紛失物品辨償金	
	訴訟入費償却金		
	違約金		
雜收入	罰俸	前金渡之者年度返納ノ分及年賦返納金共	
	返納金		
	盜難品賠償金		

千百六十八

郵便收入	切手賣下代		
	封皮賣下代		
	葉書賣下代		
	帶紙賣下代		
	私書函料		
	爲換料		
	森林收入	林地貸下料	
		林地拂下代	
		木竹拂下代	枯損木竹共
	官業益金	雜種物拂下代	土石其他下草等各種副產物
		千住製絨所	
		富岡製絲所	
	新町紡績所		
	愛知紡績所		
	幌內鐵山		
	紋隆酒精釀造所		
官業收入	農具製作所		
	水產製作所		
	播州葡萄園		

明治十八年

會計之部

千百六十九

神戶阿利磯園
下總種畜場
根室牧畜場
七重牧畜場
真駒內牧牛場
札幌內牧羊場
大野養蠶場
札幌養蠶場
七重製煉所
札幌製網場
札幌紡績場
札幌鐵工場
札幌木工場
根室木挽場
厚別木挽場
七重植物園
札幌育種場
札幌葎草園
厚別鑛詰場
別海鑛詰場
石狩鑛詰場
札幌製粉場
札幌葡萄酒釀造場

札幌麥酒釀造場
札幌味噌醬油製造場
擇捉臘虎獵所
免許料
米商會所仲買人認許料
株式取引所仲買人認許料
商標登錄手數料
海員免狀手數料
水先免狀手數料
官有物貸下代
地所貸下料
建物貸下料
物品貸下料
官有物拂下代
地所拂下代
建物拂下代
物品拂下代
辨償金
學資辨償金
毀損紛失物品辨償金

全賦収納之分共  
全上及官林盜伐誤伐損伐木及郵便沒封入物品  
賣却代共



官林課後補費及費用辨償金	官林課後補費及費用辨償金
訴訟入費償却金	訴訟入費償却金
違約金	違約金
雜収入	雜収入
罰金	罰金
返納金	前金渡之者年度后返納ノ分及年賦返納金共
共同運輸會社利益金	共同運輸會社利益金
博覽會及共進會入場券料	博覽會及共進會入場券料
電信料割戻	電信料割戻
學校生徒授業料	學校生徒授業料
木材保安料	木材保安料
郵便沒書封入金	郵便沒書封入金
盜難品賠償金	盜難品賠償金
工部省	工部省
官業益金	官業益金
佐渡鐵山	佐渡鐵山
生野鐵山	生野鐵山
阿仁鐵山	阿仁鐵山
三池鐵山	三池鐵山
東京橫濱間鐵道	東京橫濱間鐵道
神戶大津間鐵道	神戶大津間鐵道
敦賀大垣間鐵道	敦賀大垣間鐵道
電信	電信
盜伐木賠償金共	盜伐木賠償金共

官業收入	兵庫造船
燈臺局工作	燈臺局工作
明治丸便船料	明治丸便船料
鐵山借區稅	鐵山借區稅
有鐵質坑區稅	有鐵質坑區稅
無鐵質坑區稅	無鐵質坑區稅
鐵坑區稅	鐵坑區稅
官有物貸下料	建物貸下料
官有物拂下代	建物拂下代
某鐵山拂下代	某鐵山拂下代
學資辨償金	學資辨償金
毀損紛失物品辨償金	毀損紛失物品辨償金
訴訟入費償却金	訴訟入費償却金
違約金	違約金
雜収入	雜収入
罰金	罰金
返納金	前金渡之者年度后返納ノ分及年賦返納金共
建物拂下代	建物拂下代
物品拂下代	物品拂下代
某鐵山拂下代	某鐵山拂下代
學資辨償金	學資辨償金
毀損紛失物品辨償金	毀損紛失物品辨償金
訴訟入費償却金	訴訟入費償却金
違約金	違約金
雜収入	雜収入
罰金	罰金
返納金	前金渡之者年度后返納ノ分及年賦返納金共

司法省	電信料割戻	電信架設費賦納金	盜難品賠償金	免許料	代官免許料	官有物貸下料	建物貸下料	物品貸下料	官有物拂下代	建物拂下代	物品拂下代	沒收家屋賣却代共	沒收品賣却代共	懲罰及沒收金	罰金	科金	沒收金	賦金	學資辨償金	毀損紛失物品辨償金	訴訟入費償却金	違約金	雜收入
-----	-------	----------	--------	-----	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	----------	---------	--------	----	----	-----	----	-------	-----------	---------	-----	-----

元老院	罰金	返納金	宣告勝本料	盜難品賠償金	官有物拂下代	建物拂下代	物品拂下代	毀損紛失物品辨償金	違約金	雜收入	罰俸	返納金	盜難品賠償金	官有物拂下代	建物拂下代	物品拂下代	毀損紛失物品辨償金	違約金	雜收入	會計検査院	返納金	盜難品賠償金	官有物拂下代	建物拂下代	物品拂下代	毀損紛失物品辨償金	違約金	雜收入
-----	----	-----	-------	--------	--------	-------	-------	-----------	-----	-----	----	-----	--------	--------	-------	-------	-----------	-----	-----	-------	-----	--------	--------	-------	-------	-----------	-----	-----

民法編纂局	罰金	返納金	前金渡ノ者年度后返納ノ分年賦返納金共
官有物拂下代	物品拂下代	盜難品賠償金	
辨償金	毀損紛失物品辨償金		
雜收入	違約金		
罰金	盜難品賠償金		
府			
縣			
官業益金	廣島縣 鎮山		
手數料	外國船乘込証書手數料		
	海員雇入証書公認手數料		
	居留地貸下地券手數料		
	公債証書引換手數料		
	外國人内地旅行免狀手數料		
免許料	居留地雜賃手數料		

版權免許料	書換手數料	返納手數料共
外國人營業免許料	居牛 重荷揚卸 材木小船揚卸	器械取付 小船釣木取付
官有物貸下料	地所貸下料	海面池沼共
建物貸下料	物品貸下料	
官有物拂下代	地所拂下代	年賦收納ノ分及官沒地所賣却代共
	建物拂下代	全上及官沒建物賣却代共
	物品拂下代	全上及沒收品等察官吏拾得品盜沒誤後損伏未賣却代共
懲罰及沒收金	過收料	
辨償金	學資辨償金	
	病院忠告藥餌料	
	毀損紛失物品辨償金	
	誤伐木辨償金	
	訴訟入費償却金	
雜收入	違約金	
罰金	返納金	前金渡ノ者年度后返納ノ分及年賦返納金共

電信料割戻
警察官吏拾得金
印刷料
貸下金利子
藥價收入
漂着物公賣代
盜難品賠償金
準備金繰入
減債部
軍備部

●乙號外

明治十八年二月十六日

郡區役所

明治十六年即當縣乙第六十五號達經費科目條例中左ノ通改正刪補ス  
 但郡區役所分ハ十八年度ヨリ戶長役場分ハ十七年度第三期ヨリ本文科目ニ準シ勘定整理スヘシ  
 右相達候事  
 一條例第一條大中小ノ三科目ヲ「大小細ノ三費目」ト改正二條以下之レニ準ス  
 一科目表中左ノ通り改正刪補ス且印刷費ノ目ヲ消耗品ノ次ニ繰上ケ其他従前ノ通り

(印ハ朱)

大費目	小費目	細費目	細
郡區吏員給料旅費及廳中諸費	雜給	備給	給仕小使給料職工及人夫備貸(別仕立人足貨モ之レニ編入ス)消防夫足留賃枚數ニヨリ給スル寫字料
戶長以下給料旅費	雜給	○滿年賜金 (刪除)	
	應費	○檢丁費 (刪除)	
		運搬費	現金及物品遞送賃車馬船備賃荷造用品代等
		旅費	戶長以下旅費及國庫金取扱所無之郡ヨリ右取扱所へ國稅運搬費

明治十八年

會計之部

千七百七十九

	一時賜金	戶長退職及死亡ノ備給スル分 (實費ニ就キ交付スルヲ以テ豫算帳ニ掲載ニ及ハス)
	賞與	戶長事務勉勵賞與 (同上)
	備給	書役給料
〇應	費(刪除)	

●乙號外

明治十八年十二月二十二日

郡區役所

郡區役所會計規程別紙之通相定候條此旨相違候事

但本年六月十三日達會計條例第四十五條金錢出納細則ハ本文達ニ依リ調製ニ不及儀ト心得ヘシ

(別紙)

郡區役所會計規程

第一章

收支豫算

第一條 收入經費豫算ハ本縣會計條例ニヨリ豫算調書ヲ製シ郡區長ノ署名ヲ以テ縣廳ヘ送達スルモノトス

第二條 營業稅雜種稅豫算調書ハ收稅係ニ於テ前年度六月二十日迄ニ調製シ郡區長査定

ノ上六月三十日迄ニ郡區役所ヲ發シ縣廳ヘ送達ノ手續ヲ爲スヘシ

第三條 收入及經費豫算ハ各係ノ見込書ヲ前年度五月二十日迄ニ會計係ニ徵集シ該係ハ之ニ基キ其調書ヲ製シ郡區長査定ノ上六月三十日迄ニ郡區役所ヲ發シ縣廳ヘ送達ノ手續ヲ爲スヘシ但戶長役場ノ經費豫算調書モ之ニ準ス

第四條 郡區廳舎建築修繕費豫算調書ハ該主務係ニ於テ調製シ前條ニ準シ送達ノ手續ヲナスヘシ

第五條 經費豫算額決定ノ達アルキハ會計係ニ於テ該金額ニ基キ每細費目ヘ配付豫算調書ヲ作り郡區長査定ノ上日記簿以下式ノ如ク記入スヘシ爾後費目流用及ヒ臨時ノ増減ヲ生スルキモ亦全シ(明治二十年四月訓令乙第二十號ヲ以テ改定)

第六條 經費豫算決定ノ後費額ノ彼是流用ヲ要スルキハ會計係ニ於テ其金額事由ヲ詳記シ小費目中細費目ノ流用ニ止ルモノハ郡區長之ヲ決行シ小費目以上ニ係ルキハ流用仕譯書ヲ作り郡區長査定ノ上縣廳ヘ具申ノ手續ヲ爲スヘシ(明治二十年四月訓令乙第二十號ヲ以テ改定)

第七條 豫算外臨時ノ事件ヲ生シ増費ヲ要スルキハ主務係ノ調書ニ據リ會計係ニ於テ其金額事由ヲ具シ郡區長査定ノ上縣廳ヘ申請ノ手續ヲナスヘシ

第二章

金錢出納

第八條 凡出納ハ主務係ニ於テ收支傳票ヲ製シ會計係ノ調査ヲ經郡區長ノ檢印ヲ得テ其收支ヲ執行スルモノトス

第九條 傳票ハ收入支出報告ノ三種ニ區分事山ヲ詳記シ主務者二名以上調印ノ上之ヲ會計係ニ移ス該係ハ金員等ヲ調査シ番號科目印等ヲ捺捺シ郡區長ノ檢印ヲ得テ領收證書或ハ拂切符ヲ發シ爲換方ヲシテ現出納ヲナサシムヘシ但領收證書及拂切符ハ郡區長ノ署名ヲ以テスヘシ

第十條 各官衙ヨリ送付金及人民ノ納金ハ直チニ會計係ヘ受入其添書或ハ納證書ヘ領収ノ印ヲ捺捺シ之ヲ主務係ヘ送致スヘシ該係ハ即時傳票ヲ作り第九條ノ手續ヲ了ヘ而シテ官衙ヘノ領収證書ハ直チニ會計係ヨリ發送スヘシ但地方稅ハ收稅係ニ於テ十三年本縣乙第六十二號達地方稅領収順序第七條ノ手續ヲナシ帳簿記入ヲ了シ而シテ乙切符ハ每一日分取額之ニ傳票ヲ付シ受入ノ手續ヲナスヘシ

第十一條 縣廳ヘ上納金並他官衙ヘ回送金ハ主務係ニ於テ傳票ヲ製シ之ニ上納證書ヲ副會計係ヘ送付スヘシ但他官衙ヘ回送金ニ屬スル照會書類等ハ主務係ヨリ直ニ發遣スヘシ

第十二條 會計係ハ前條ノ傳票ヲ得テ第九條ノ如ク仕拂ノ手續ヲナシ而シテ縣廳ヘ上納金ハ送納方爲換方ヘ相達シ預リ證書ヲ取置上納證書ハ直ニ縣廳ヘ遞送シ追テ領收證書爲換方ヨリ差出タルキ預リ證書ト交換スヘシ又他官衙ヘ回送金ハ郵便其爲換他ノ便宜ニヨリ之ニ送達書ヲ添付發遣スヘシ

第十三條 遞送金ハ遞送金簿ヲ設備シ其都度年月日金員事山等ヲ詳記シ置領收證書到若

スレハ其旨該部ニ記入濟證書ハ會計係ニ藏置スヘシ

第十四條 郡區役所ノ經費ニシテ各係其他ヨリ請求スルモノハ該請求書ニヨリ會計係ニ於テ傳票ヲ製シ仕拂ノ手續ヲナスヘシ

第十五條 經費金支出スルトキハ先內譯簿ニ就キ豫算現在額ヲ調査シ然ル後仕拂ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 需用品中拾圓以上ノ物品ヲ購求スルキハ縣廳ヘ經伺ノ手續ヲナスヘシ但出納簿ハ此限ニアラス

第十七條 戶長書役給料ハ每一ヶ月概算ヲ以テシ旅費ハ實費請求ニ依リ交付スヘシ

第十八條 毎日仕拂金ハ領収證書ト引換ニ拂切符ヲ交付シ尙切符割印帳ニ受取人ヲシテ捺印セシメ毎日合計受拂簿ト照査脱漏ナキヲ要ス

第十九條 現金ノ管守出納ハ爲換方ヲシテ之ヲ掌トラシム故ニ會計係ハ其出納ノ記簿及金員等臨時檢査スヘシ但爲換方預ケ金抵當額ヨリ超過シ増抵當差出サ、ルキハ該金額等速ニ縣廳ヘ申報スヘシ

第二十條 現金授受ノ順序ハ爲換方命令書ニ照準履行シ其仕拂切符ハ翌月五日迄ニ爲換方ヨリ出サンメ切符割印帳ト照合シテ之ヲ斷截スヘシ

第二十一條 會計係ハ毎日爲換方預ケ金在高ノ種類表ヲ出サシメ抵當品比較表ヲ製シ現金受拂簿ト照査シテ計算表ト共ニ郡區長ノ檢閱ヲ受クヘシ

第二十二條 金錢出納ノ記簿ハ會計係ノ擔任トシ其様式ハ複記式ヲ用ヒ郡區長ノ檢印アル憑書ニ據テ之カ記入ヲナスヘシ

第二十三條 記簿ノ順序ハ先ツ現金受拂簿ニ記入シ受拂ノ后チ日記簿原簿其他内譯簿等補助簿ノ記入ヲ爲スヘシ尤甲日ノ記簿ハ乙日午前十時ヲ限リ計算表ヲ製シテ郡區長ノ檢閱ヲ受ヘシ

第二十四條 重要ノ諸帳簿及記簿ノ憑書ハ倉庫又ハ堅牢ノ所ニ藏メ主簿者日々之ヲ出入監守スヘシ

第二十五條 帳簿記入ノ後憑書等ニ誤謬アリシヲ發見スルモ帳ク之ヲ訂正スルヲ許サス必主任ヨリ其事山ヲ証明シタル書面ヲ得テ后チ更正スヘシ

第二十六條 記簿ハ會計係ノ主務ト雖モ各係ニ於テ主務ノ費途ハ受拂簿ヲ設ケ置納拂ノ都度無遺漏登記シ月末受拂表ヲ製シテ翌月三日迄ニ會計係ニ送付其照校ヲ爲スヘシ

第二十七條 會計係ハ每月收入經費受拂ノ金員ヲ収支内譯簿ニ據リ調査シ明治十八年六月十六日本縣達ニ照準収支現計書ヲ製シ納金及領収証書ヲ添ヘ郡區長ノ檢閱ヲ經テ翌月十日迄ニ之ヲ縣廳ヘ送達スヘシ

第二十八條 郡區廳舎建築修繕費郡區役所限リ施工ノ土木費ハ每一ヶ月竣工ノ費用内譯明細書ヲ主務係ニ於テ調製會計係ニ送付シ該係ハ之ニ領収証書ヲ添付郡區長ノ檢閱ヲ經テ翌月十日迄ニ之ヲ縣廳ヘ送達スヘシ

第二十九條 會計係ハ年度經過ノ後該年度ニ屬スル經費無遺漏速ニ精算シ其仕拂殘額ハ縣廳出納閉鎖期限前無遺漏還納ノ手續ヲナスヘシ

第三十條 一周年度ノ出納ハ四月一日ニ於テ之ヲ開始シ該年度經過ノ後二ヶ月ヲ限リ之ヲ閉鎖スヘシ但閉鎖後縣廳ノ指令等ニ由リ出納ヲナスハ此限ニアラス

第三十一條 毎日ノ出納ハ昇廳時限ヨリ開始シ退廳ニ二時間前ヲ限リ閉鎖ス尤時限後非常至急ヲ要スル仕拂アルキハ切符ヘ(非常渡)ノ印ヲ捺シ交付スヘシ然ルキハ爲換方ニ於テ何時ニテモ現金ヲ拂渡スヘシ

第三章

收支決算

第三十二條 每會計年度收入及經費決算帳ハ會計係ニ於テ翌年度六月三十日迄ニ調製シ郡區長査定ノ上七月十日迄ニ郡區役所ヲ發シ縣廳ヘ送達ノ手續ヲ爲スヘシ但戶長役場ノ收支決算帳モ之ニ準ス

第三十三條 收稅係ハ地方稅ノ納期ヲ過レハ直ニ收否ヲ調査シ若シ未納金アルキハ速ニ完納ヲ爲サシムヘシ但收入金ノ未納ハ會計係ヨリ主務係ニ通報シ之レカ完納ヲサシムヘシ

第三十四條 假收入及假出經營等ノ金員ハ會計係ニ於テ主務係ニ督促シ遲緩ナク決算セシムヘシ

若シ事故アリテ縣廳出納閉鎖ノ期迄ニ決算ニ至ラサルモノアルキハ主務係ニ於テ其事

山ヲ具シ會計係ヲ經テ郡區長査定ノ上縣廳ヘ開ノ申手續ヲナスヘシ

第三十五條 旅費及出張先キ費用ノ如キハ當務了リ歸廳ノ後五日以内ニ精算書ヲ出サシメ會計係ニ於テハ十日以内ニ決算スヘシ但年度分界ニ際スルキハ當務了ルヲ竣ス中仕切決算ヲナスヘシ

第三十六條 收支ノ決算認可狀交付アルキハ原簿内譯簿等ト照查シ該認可狀記入簿ヲ設ケ之レニ其全面ヲ騰寫シ右認可狀ハ堅牢ノ所ニ藏置スヘシ

第四章 雜則

第三十七條 每會計年度地方稅經濟ニ係ル寄付金等ノ増減内譯表ハ會計係ニ於テ翌年七月二十日迄ニ調製シ郡區長査定ノ上全月三十日迄ニ縣廳ヘ具申ノ手續ヲナスヘシ

第三十八條 預ケ金或ハ貸付金アルキ其証書抵當品ノ出入ハ郡區長ノ面前ニ於テ會計係二名以上立會員數等調査シ直ニ封緘郡區長并會計係シ倉庫若クハ堅牢ノ所ニ藏置シ宿直員ヲシテ監守セシムル等取締方注意スヘシ

訓令甲第三號 明治十九年八月二十日

郡區役所 戶長役場

歲入取扱順序第三十二條ニ據リ戶長ニ於テ税金ヲ分納スルトキ事故アリテ徵稅令書ヲ亡失シタル場合ニ於テハ左ノ通り取扱フヘシ

一 水火盜難等ニ罹リ徵稅令書ヲ亡失シタルトキハ戶長ハ其事山ヲ具シテ郡區長ニ開申ス

一 郡區長ハ前項ヲ開申シ得ルキハ未納殘額ノ徵稅令書ヲ發スヘシ

二 前項未納殘額ノ徵稅令書ハ金額ノ右側ニ左ノ如ク記載スヘシ  
金何圓何錢ノ内未納殘

● 訓令乙第九號 明治十九年十月十四日

郡區役所

歲入取扱順序第二十一條ニ據リ既納ノ税金過誤納ニ係ル下戻ヲ要スルトキハ歲入報告濟ノ後之ヲ請求スヘシ

但至急ニ下戻ヲ要スルモノハ彙ニ納入シタル科目金額ヲ掲ケ其請求ニ先ツテ臨時歲入報告書ヲ差出ヘシ  
〔明治二十年十二月訓令乙第六十三號ヲ以テ但書ヲ刪除〕

● 告第六十七號 明治十九年四月二十七日

閣令第三號ヲ以テ歲入歲出納規則制定セラレ候ニ付テハ右ニ關シ心得ヘキ事項左ノ如シ

- 一 歲入歲出ノ現金ハ金庫ニ於テ直ニ收納支出ス
- 二 金庫ト稱スルハ大藏省金庫局其出張所及國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヲ云フ
- 三 金庫ノ出納ハ大藏大臣ノ定ラレタル開庫時間ニ限ル
- 四 租稅ノ徵收ハ戶長若クハ納稅者ニ對シ郡區長徵稅令書ヲ發ス



山ヲ具シ會計係ヲ經テ郡區長査定ノ上縣廳ヘ開ノ申手續ヲナスヘシ  
第三十五條 旅費及出張先キ費用ノ如キハ當務了リ歸廳ノ後五日以内ニ精算書ヲ出サシ  
メ會計係ニ於テハ十日以内ニ決算スヘシ但年度分界ニ際スルキハ當務了ルヲ埃ス中仕  
切決算ヲナスヘシ

第三十六條 收支ノ決算認可狀交付アルキハ原簿内譯簿等ト照查シ該認可狀記入簿ヲ設  
ケ之レニ其全面ヲ謄寫シ右認可狀ハ堅牢ノ所ニ藏置スヘシ

第四章 雜 則

第三十七條 每會計年度地方稅經濟ニ係ル寄付金等ノ増減内譯表ハ會計係ニ於テ翌年七  
月二十日迄ニ調製シ郡區長査定ノ上全月三十日迄ニ縣廳ヘ具申ノ手續ヲナスヘシ

第三十八條 預ケ金或ハ貸付金アルキ其証書抵當品ノ出入ハ郡區長ノ面前ニ於テ會計係  
二名以上立會員數等調査シ直ニ封緘郡區長并會計係  
シ倉庫若クハ堅牢ノ所ニ藏置シ宿直  
員ヲシテ監守セシムル等取締方注意スヘシ

●訓令甲第三號 明治十九年八月二十日

郡區役所 戶長役場

歳入取扱順序第三十二條ニ據リ戶長ニ於テ税金ヲ分納スルトキ事故アリテ徵稅令書ヲ亡  
失シタル場合ニ於テハ左ノ通り取扱フヘシ

一 水火盜難等ニ罹リ徵稅令書ヲ亡失シタルトキハ戶長ハ其事山ヲ具シテ郡區長ニ開申ス

一 郡區長ハ前項ヲ開申テ得ルキハ未納殘額ノ徵稅令書ヲ發スヘシ

二 前項未納殘額ノ徵稅令書ハ金額ノ右側ニ左ノ如ク記載スヘシ  
金何圓何錢ノ内未納殘

●訓令乙第九號 明治十九年十月十四日

郡區役所

歳入取扱順序第二十一條ニ據リ既納ノ税金過誤納ニ係ル下戻ヲ要スルトキハ歳入報告濟  
ノ後之ヲ請求スヘシ

但至急ニ下戻ヲ要スルモノハ彙ニ納入シタル科目金額ヲ掲ケ其請求ニ先ツテ臨時歳入  
報告書ヲ差出ヘシ明治二十年十二月訓令乙第  
六十三號ヲ以テ但書ヲ刪除

●告第六十七號 明治十九年四月二十七日

閣令第三號ヲ以テ歳入歳出納規則制定セラレ候ニ付テハ右ニ關シ心得ヘキ事項左ノ如  
シ

- 一 歳入歳出ノ現金ハ金庫ニ於テ直ニ收納支出ス
- 二 金庫ト稱スルハ大藏省金庫局其出張所及國庫金取扱所若クハ現金仕拂所ヲ云フ
- 三 金庫ノ出納ハ大藏大臣ノ定ラレタル開庫時間ニ限ル
- 四 租稅ノ徵收ハ戶長若クハ納稅者ニ對シ郡區長徵稅令書ヲ發ス

- 五 戸長ニ於テ徵稅令書ヲ受タルトキハ納稅者ニ對シ徵稅傳令書ヲ發ス
- 六 租稅外收入ノ徵収ハ納人ニ對シ會計主務官納額告知書ヲ發ス  
但納人數多アリテ其組合代理ヲ撰ミ之ニ委託シテ納金ヲサントスルモノアルトキハ代理納人ニ對シテ納額ヲ集計シタル納額告知書ヲ發ス
- 七 租稅外收入ト稱スル手數料ノ性質ヲ以テ徵收スル諸收入官有ノ財產物品ヨリ生スル諸收入官業益金罰金科料沒收金ノ類諸貸付若クハ過渡等ノ返納金特別ノ事務ニ宛ル諸寄付金等ヲ云フ
- 八 納人ニ於テ徵稅令書若クハ納額告知書ヲ受タルトキハ該書ニ接續シタル上納書正副共年月日及住所氏名ヲ記入名下ニ捺印シ(見認印又ハ花押等ニテ差支ナシ)徵稅令書若クハ納額告知書ト共ニ之ヲ現金ニ添テ金庫ニ納付ス  
ハ其令書若クハ告知書ニ領收ノ年月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ上納書ト接續ノ所ニ割印ノ後之ヲ切斷シ其令書若クハ告知書ハ之ヲ納人ニ還付ス
- 九 金庫ハ納人ヨリ現金ヲ上納書ニ添ヘ徵稅令書若クハ納額告知書ト共ニ納付スルトキハ其令書若クハ告知書ニ領收ノ年月日ヲ記入シ金庫ノ印ヲ捺シ上納書ト接續ノ所ニ割印ノ後之ヲ切斷シ其令書若クハ告知書ハ之ヲ納人ニ還付ス
- 十 納稅者ニ於テ徵稅傳令書ヲ受タルトキハ現金ニ傳令書ヲ添ヘ戸長役場ニ納付ス
- 十一 戸長ハ納稅者ヨリ現金ヲ徵稅傳令書ニ添ヘ納付スルトキハ傳令書ニ接續シタル税金領収証用紙ニ金員及領收ノ年月日ヲ記入シ氏名ノ下ニ捺印シ傳令書領収証ト接續ノ所ニ割印シテ之ヲ切斷シ領収証ヲ納稅者ニ交付ス

- 十二 納人ニ於テ税金ノ過納誤納等ヲ發見スルトキハ郡區長ニ其理山書ヲ出シテ下戻ヲ請求ス
- 十三 國債元利年金恩給經費等ノ支出ハ受取人ニ對シ會計主務官仕拂切符ヲ發ス
- 十四 金庫ハ仕拂切符ノ所有者ヨリ仕拂切符ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求セラレタルトキハ即時之ヲ發シ其發行應ヨリ送付ヲ受タル案内書ニ照合シ帳記ノ后直ニ仕拂切符表面ノ金額ヲ交付ス
- 十五 仕拂期限ヲ經過シタル仕拂切符ノ書換ヲ其所有者ヨリ請求スルトキハ會計主務官ハ更ニ仕拂切符ヲ製シテ舊仕拂切符ト交換ス  
右告示ス
- 訓令甲第十二號 明治二十年一月三十一日 郡區役所 戸長役場
- 訓令甲第三十四號 明治二十年四月九日 郡區役所 戸長役場
- 訓令甲第三十七號 明治二十年四月十八日 郡區役所 戸長役場

郡區役所 戶長役場

地券下付書換手数料歳入科目報告心得追加ノ件〔明治二十一年五月訓令甲第二十一號ヲ以テ廢止〕

●訓令甲第六十三號 明治二十年六月二十九日

郡區役所 戶長役場

本人大藏省令第一號ニ基キ發付スル納付書ニ歳入科目ノ款名ノ印捺捺ノ件〔明治二十一年五月訓令甲第二十一號ヲ以テ廢止〕

●訓令乙第一號 明治二十年一月十七日

郡區役所

訓令第九  
部ハ事務  
入ノ編

客年縣令第九號項目中諸貸付金徴収及處分順序左ノ通心得ヘシ  
但客年五月丙第六十四號達ハ廢止ス

諸貸付金徴収及處分順序

第一條 諸貸付金徴収ハ明治十九年縣令第三號歳入歳出々納規則及大藏省令第四號歳

入取扱順序ニ準據スルモノトス

第二條 納額臺帳ハ曾テ下渡シタル諸貸付金取立元帳ヲ以テ兼用スヘシ

第三條 諸貸付金整理科目及徴收期限左ノ如シ

一 舊藩貸 毎年十一月二十日 但元歸田貸下ハ毎年五月廿日

但從前ノ舊藩貸ヲ云フ

二 勸業貸 取立元帳記載ノ納期ニ依ル

但從前ノ勸業貸ヲ云フ

三 繰換貸 全

但豫備金繰換金舊島田組貸付金等ヲ云フ

四 雜種貸 毎年十一月二十日 但元救助貸ハ毎年五月二十日元雜貸ハ取立元帳記載ノ納期ニ依ル

但從前ノ救助貸雜貸官方貸外國債代償石高貸並ニ從來雜收入トシテ納入スヘキ

モノ、内諸過渡金諸拂下代諸貸下料其他訴訟入費償却金等ノ類ニシテ年月賦若

クハ据置ノ後上納スヘキモノ及身代限ノ處分ヲ受ケ追テ身代持直次第上納スヘ

キモノヲ云フ

第四條 郡區長ハ每期其徴收ヲ會計主任ニ命令シ該書記ヲシテ納額告知書ヲ發セシムヘ

シ〔明治二十年訓令乙第四十一號參看〕

第五條 納額告知書ハ大藏省主管ノ印ヲ捺スヘシ

第六條 歳入科目ハ貸付返納金ヲ以テ款項トシ第三條整理科目ヲ以テ目トシ從前ノ稱呼

ヲ以テ節トス〔明治二十二年三月訓令乙第十五號〕

第七條 諸貸付返納金ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ニ現收シタル額ヲ以テ一

周年度トス

第八條 負債主困難ノ事情等ニ依リ返納期限ニ際シ若シ猶豫ヲ請フトキハ郡區役所限リ

六ヶ月以内ノ延期ヲ與フルコトヲ得

第九條 雜種貸中明治四年十月大藏省達並明治八年太政官第百二十二號達傍民一時救助規則ニ據リタル元救助貸ノ分ニシテ年賦返納金ヲ利引ヲ以テ一時ニ返納ヲ願出タルトキハ郡區役所限リ五十ヶ年賦以内ノ年賦ニ割換ルコトヲ得

第十條 負債主ノ情願ニ依リ年賦伸縮等之アルトキハ更ニ取立元帳ヲ製シ該指令ニ添ヘ

交付スヘクヲ以テ從來ノ取立元帳ハ負債主ヨリ差出ス受書ト共ニ本廳ヘ進達スヘシ

第十一條 負債主管内甲郡區ヨリ乙郡區ヘ移轉シタルトキハ甲郡區役所ヨリ乙郡區役所ヘ直チニ取立元帳ヲ引繼ヘシ

第十二條 左ニ掲クル諸件ハ其事由ヲ詳記シ其都度本廳ヘ報告スヘシ

但第一項ハ取立元帳ヲ付シ第二項第六項ハ計算書ヲ付スヘシ〔明治二十一年五月訓令乙第二十八號ヲ以テ改正〕

- 一 負債主他府縣下ヘ移轉シタルトキ
- 二 負債主管内他郡區ヘ移轉ニヨリ取立元帳ヲ引繼タルトキ
- 三 負債主死亡若クハ退隱等ニテ相續人ヘ負債ノ義務移轉シタルトキ
- 四 負債主失踪シタルトキ〔明治二十一年五月訓令乙第二十八號ヲ以テ改正〕
- 五 負債主死亡絶家シタルトキ
- 六 負債主身代限ノ處分ヲ受タルトキ
- 七 第八條ノ場合ニ於テ猶豫ヲ與ヘサルトキ

八 第九條ノ場合ニ於テ年賦ヲ割換タルトキ

第十三條 左ニ掲クル諸件ハ處分ヲ了シタル後其事由ヲ詳記シ計算書ヲ付シ其都度本廳ヘ報告スヘシ

一 年賦返納金ヲ繰上ケ又ハ返納年度未定ノ金額ヲ一時ニ上納ヲ願出タルトキ

二 年賦返納金ヲ利引ヲ以テ一時ニ返納ヲ願出タルトキ

第十四條 第十三條第二項ノ利引算則ハ明治十年大藏省乙第十八號達ニ據ル

但既約ノ年月賦五十ヶ年以上ニシテルモノハ五十ヶ年迄ニ短縮スヘシ

第十五條 第九條第十一條第十二條第三項第十三條ノ場合其他取立元帳ニ異動アルトキハ其都度訂正スヘシ

第十六條 年賦返納金ヲ皆納スルトキハ負債主ヨリ差出アル証書類ハ下戻スヘクニ付該

受取書ヲ作り取立元帳ト共ニ本廳ヘ進達スヘシ

第十七條 負債主身代限ノ場合ニ於テ本廳ノ請求ニ對シ裁判所ヨリ該配當金ヲ郡區役所

ヘ交付アルトキハ納付書ヲ添ヘ國庫金取扱所ヘ納付スヘシ

第十八條 每期徴收ノ金額ハ書式ニ據リ徴収報告表ヲ製シ翌月五日以内ニ郡區役所ヲ發

シ本廳ヘ送付スヘシ

但期限後徴收ノモノモ本文ニ準ス〔明治二十一年五月訓令乙第二十八號ヲ以テ第十九條ヲ追加〕

(報告表書式畧ス)

明治二十年

會計之部

●訓令乙第十九號 明治二十年四月十八日

郡區役所

地方稅収支ニ係ル會計條例中第十四條「小費目」ヲ細費目ト改ム

●訓令乙第二十號 明治二十年四月十八日

郡區役所

郡區役所會計規程中左ノ通改定ス

第五條 經費豫算額決定ノ達アルトキハ會計係ニ於テ該金額ニ基キ每細費目ヘ配賦豫算

内譯書ヲ作り郡區長査定ノ上豫算額決定ノ達ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ縣廳ヘ送達

ノ手續ヲ爲スヘシ但豫算内譯書ニヨリ日記簿以下式ノ如ク記入スヘシ爾後費目流用及

ヒ臨時ノ増減ヲ生スルキモ亦同シ

第六條 經費豫算決定ノ後費目ノ流用ヲ要スルトキハ會計係ニ於テ其金額事由ヲ詳記シ

流用仕譯書ヲ作り郡區長査定ノ上縣廳ヘ具申ノ手續ヲ爲スヘシ

●訓令乙第四十一號 明治二十年六月二十九日

郡區役所

本年本縣訓令乙第一號諸貸付金徵収及處分順序第四條ニ據リ納額告知書ヲ發スルトキ

ハ金員ノ右方ニ款名(貸付返納金)ノ印ヲ捺捺スヘシ(明治二十二年三月訓令乙第十一號五號ヲ以テ貸付ノ二字ヲ削除)

●訓令乙第六十三號 明治二十年十二月二十一日

郡區役所

客年<sup>月</sup>訓令乙第九號既納税金過誤納下戻ノ件但書ヲ刪除ス

●告示第四十四號 明治二十年三月十二日

大藏省告示第十八號當縣管內國庫金出納本所及出納支所位置並ニ出納區域左ノ如シ

國庫金出納所位置出納區域一覽表

縣	國庫金出納所	位 置	出 納 區 域	出納支所	位 置
	名古屋	尾張國名古屋區傳馬町	名古屋區		
			愛知郡	熱田	尾張國愛知郡熱田驛
			東春日井郡	勝川	同國東春日井郡勝川
			西春日井郡	下小田井	同國西春日井郡下小田井村
			中島郡	稻葉	同國中島郡稻葉村
			丹羽郡	小折	同國丹羽郡小折村
			栗原郡		
海東郡			津島		同國海東郡津島村

愛知																			
岡崎		三河國額田郡岡崎連尺		三河國		中島郡		一ノ宮		同國中島郡一ノ宮村									
豊橋		三河國渥美郡豊橋八町		尾張國		額田郡													
						東加茂郡		足助		三河國東加茂郡足助村									
						西加茂郡		舉母		同國西加茂郡舉母村									
						幡豆郡		西尾		同國幡豆郡西尾本町									
						寶飯郡		御油		同國寶飯郡御油村									
						北設樂郡		田口		同國北設樂郡田口村									
						碧海郡		知立		同國碧海郡知立村									
						知多郡		半田		尾張國知多郡半田村									
						渥美郡													
						八名郡		富岡		三河國八名郡富岡村									
						南設樂郡		新城		同國南設樂郡新城村									

訓令甲第三十三號 明治二十一年五月二十九日

郡區役所 戶長役場

地券下付書換手数料豫算表差出方等別紙ノ通相定メ二十年訓令甲第十二號地券下付書換手数料歳入科目報告 同年訓令甲第三十七號同道 同年訓令甲第六十三號二十年大藏省令第一號ニ基キ發付スル納付書ニ歳入科ノ款名ノ印捺捺ノ件 廢止ス

但書式ハ別ニ願ツ

(別紙)

第一條 郡區役所ニ於テハ毎年収入豫算表第一號ヲ製シ前年度五月三十一日迄ニ本廳ヘ

進達スヘシ

第二條 前條豫算額決定スルトキハ本廳ヨリ徴収額ヲ令達スヘシ

第三條 豫算徴収額ノ令達ヲ得タルトキハ郡區役所ハ収入月額豫算表第二號ヲ製シ該令

達ヲ得タル日ヨリ五日以内ニ本廳ヘ進達スヘシ

第四條 豫算徴収額ニ對シ郡區役所ハ毎月其増減ノ有無ヲ調査シ増減アルトキハ豫算増

減報告書第三號ヲ製シ翌月五日迄ニ本廳ヘ進達スヘシ但増減ナキキハ其旨報告スヘシ

訓令乙第十八號 明治二十一年四月七日

郡區役所

歳入取扱順序ニ據リ發行スル歳入徴稅令書及納領告知書等ニ目ノミヲ誤記シタル場合ニ

於テハ本年四月以降其訂正方ヲ金庫ニ請求スルニ不及但歳入報告書ノ儀ハ右ノ場合ニ於テハ従前ノ通り夫々訂正スル儀ト心得ヘシ

●訓令乙第三十二號 明治二十一年四月十四日

郡區役所

明治十九年丙第三十六號歳入取扱順序書式第一號及第五號書式二十一年度ヨリ別紙ノ通更正ス

但別紙ハ別ニ願ツ

●訓令乙第二十八號 明治二十一年五月三日

郡區役所

明治二十年ハ本縣訓令乙第一號諸貸付金徴收及處分順序第十二條但書及第四項ヲ改正シ第十九條ヲ追加ス

第十二條云々  
但第一項ハ取立元帳第二項第六項ハ計算書第四項三十六ヶ月経過相續人無之場合第五項ハ遺産調書ヲ付スヘシ

四 負債主失踪シタルトキ及失踪後歸籍又ハ三十六ヶ月経過歸籍セサルトキ第十九條 左ニ掲クル諸件ハ其事由ヲ詳記シ毎年一月二十日限本廳へ報告スヘシ

一 負債主身代限ノ處分ヲ受ケタル後身代ノ實況

二 負債主失踪後三十六ヶ月経過第十二條第四項報告後歸籍ノ有無

●訓令甲第十四號 明治二十二年三月三十日

郡區役所 戸長役場

明治二十二年歳入訴訟用印紙料、登記印紙料ハ該納付書(正副)一「經常歳入」ノ印ヲ押捺スベシ

●訓令甲第十五號 明治二十二年四月十一日

郡區役所 戸長役場

明治二十二年歳入租税科目ハ別紙科目改正表ニ由ルベシ  
(別紙)

明治二十二年歳入租税科目改正表

租	款	税	項	目
		地	租	
				田
				畑
				郡村
				市街
				鹽田
				礦泉
				地
				租
				租
				租
				租
				租
				租







二 藏 敷 料	某所主藏幾棟一棟一ヶ月金何圓宛
三 貸付金敷利子	共有金貸付元金何千圓ハ年幾割何百圓ハ月何割貸付米何石此利米何斗代金何程
四 公 債 利 子	何種公債証書額面何万圓此一ヶ月分利子金何圓何種公債証書額面何千圓此一ヶ月分利子金何圓
五 小 作 米	某所字何々田(畑)小作米何石代金何程
六 森林副產物拂代	某所字何々森林竹藪拂代金何圓
七 水 道 收 入	吹井戸何十個壹箇ニ付金何圓並井戸何百個一個ニ付金何圓
第二款 使用料及手数料	
一 議事堂使用料	一ヶ月間幾日一日ニ付金何拾錢
二 堤塘使用料	某所字何々堤塘幾坪一坪ニ付金何錢
三 道路並木敷使用料	何街並木敷幾坪一坪ニ付金何錢
四 何 使 用 料	市町村制第八十四條及第八十九條ニ係ル使用料等各別ニ列記スベシ
五 何 手 數 料	全 上

第三款 雜 收 入	
一 橋 錢 及 渡 船 賃	何川何橋々錢何圓何川何所渡船賃何圓
二 竹 木 拂 代	何堤竹木拂代金何圓並木枯損木拂代金何圓
三 不 用 品 拂 代	不用品箱拂代金何圓 反古拂代金何圓 糞尿拂代金何圓
四 小 學 校 授 業 料	生徒何人平均一人何錢
五 豫知スヘカラサル收入	過忘金過料金賠償金其他豫知スヘカラサル收入ヲ編入スヘシ
第四款 前年度繰越金	
第五款 地方稅補助金	
一 教 育 費 補 助	小學簡易科教員何人一人一ヶ月何圓宛
二 土 木 費 補 助	何堤防修築補助費何圓何道路改修補助費何圓
第六款 寄 付 金	
一 土 木 費 寄 付	何橋架設費指定金何圓何用水路修繕費指定金何圓

市町村歲出豫算表記載例備考		前年度豫算額	本年度豫算額	附記
科	目			
第一款	役所(役場)費			
第一項	給料			
	一市町村長給料			年俸何百圓若クハ月俸何圓ツ、十二ヶ月分
	二助役給料			月俸何圓何人何圓何人
	三書記給料			前ニ全シ
	第五款市町村稅			○何教育場費指定金何圓 ○何窮民救助費指定金何圓
	一地價割			地價金何圓ニ付何錢本年地租豫算高金何程地租一圓ニ付金何程即チ地租ノ何分
	二營業割			本年度地方稅營業稅ノ何分
	三戶別(家屋)割			本年度地方稅戶數割(家屋稅)ノ何分

四付屬員給料				前ニ全シ
五收入役給料				年俸何百圓若クハ月俸何圓ツ、十二ヶ月分
六區長給料				年俸若クハ月俸何圓何人何圓何人
七使丁給料				月給若クハ日給何程ノ者何人何程ノ者何人
第二項 雜給				
一旅費				市町村長旅費日當何圓助役全何圓書記全何圓附屬員全何圓市町村吏員全何圓收入役全何圓區長全何圓
二報酬				名譽職參事會員報酬何圓常置委員全何圓區長全何圓
三實費辨償額				名譽職參事會員實費辨償額何圓以下前ニ全シ
四退隱料				市町村長退隱料何圓助役全何圓吏員全何圓
五雇人料				職工賃何圓雇人足賃何圓
第三項 需用費				
一備品費				何器具新調費何圓何器械修繕費何圓書籍買入代何圓

二消耗品費	筆紙墨代何圓薪炭油茶代何圓何々代何圓
三賄費	宿直辨當料何圓夜勤全何圓
四通信運搬費	郵便電信料何圓運送費何圓
五雜費	借家料何圓借地料何圓何々何圓
第四項常時修繕費	屋根修繕費何圓塙塙修繕費何圓
一役所役場修繕費	何々費何圓
二物置修繕費	何々費何圓
第二款會議費	議員何人一人ニ付何圓
一議員實費辨償額	書記何人内一人ハ日給何圓何人ハ全何拾錢
二書記給料	議案印刷費何圓決議書全何圓何々全何圓
三印刷費	卓子何脚新調若クハ修繕費一脚ニ付金何圓椅子何脚全一脚ニ付金何十錢
四備品費	

訓令乙第五十五號  
ハ登記ノ部ニ編入ス

五消耗品費	筆紙墨代何圓薪炭油茶代何圓
六郵便費	
七雜費	何々

以下倣之

●訓令乙第十三號

明治二十二年三月二十九日

郡區役所

明治二十二年三月法律第九號ヲ以テ國稅徵收法公布セラレタルニ付四月一日以前既ニ徵稅令書ヲ發シタルモノハ從前ノ手續ニ據リ取扱フヘシ

●訓令乙第十四號

明治二十二年三月三十日

郡區役所

明治二十二年年度歳入ノ中訴訟用印紙料ハ租稅外收入ニ組替相成候ニ付テハ該豫算及納付方ハ客年ト本縣訓令乙第五十五號登記印紙料豫算及納付手續ノ通心得ヘシ但歳入科目ハ「訴訟用印紙料」ヲ目トスヘシ（明治二十二年六月訓令乙第四十二號ヲ以テ廢止）

●訓令乙第十五號

明治二十二年三月三十日

郡區役所

明治二十年本縣訓令乙第一號諸貸付金徵收及處分順序第六條中「貸付」ノ二字及同年

訓令乙第  
五十五號  
八登部  
ハ部  
ニ編入  
ス

千二百十

本縣訓令乙第四十二號貸付金款名「貸付」ノ二字刪除ス

郡區役所

●訓令乙第十六號 明治二十二年三月三十日

二十二年度貸付金納額告知書〔正副〕〜「臨時歲入」ノ印ヲ押捺スヘシ

郡區役所

●訓令乙第二十號 明治二十二年四月九日

明治二十二年度經常歲入中へ土地臺帳謄本手數料ヲ設ケラレタルニ付該豫算及納付方ハ客年社本縣訓令乙第五十五號登記印紙料豫算及納付手續ノ通心得ヘシ但歲入科目ハ「土地臺帳謄本手數料」ヲ目トスヘシ〔明治二十二年六月訓令乙第四十二號ヲ以テ廢止〕

郡區役所

●訓令乙第二十一號 明治二十二年四月十一日

明治二十三年度租稅外經常歲入豫算額別紙ノ通り相定ム

郡區役所

●訓令乙第二十二號 明治二十二年四月十一日

但別紙ハ別ニ頒ツ  
二十二年度歲入租稅ニ係ル諸報告書ハ該書式中第一部トアルヲ經常ト改メ記載スヘシ

郡區役所

●訓令乙第三十三號 明治二十二年五月二十四日

明治二十三年度歲入租稅豫算書ハ明治二十二年歲入科目ヲ適用調製スヘシ

○儲蓄之部

●甲第七十三號 明治十五年十一月十八日

備荒儲蓄金施行規則ニ據リ地租金貸與補助願ヒ書式及ヒ貸與証分書式別紙之通相定候條此旨布達候事

(○印ハ朱)

(別紙)

(願書式)

罹災ニ付地租貸與補助願

損毛反別何程

此地價金何程

此地租金何程

一金何程

右ハ私義從來貧窮ニ候處何月何日何々ノ災害ニ罹リ土地家屋賣却セサレハ地租辨納難行屆困難仕候間何卒書面金員本年ヨリ無利何ケ年賦御貸下被成下度此段奉願候也

年 月 日 縣 令 宛

何郡區町村何番屋敷 某 印

(郡區戶長與印如例)

明治十五年

儲蓄之部

千二百十一

(貸與證券書式)

証

一金何圓 但備荒儲蓄金

但本年ヨリ明治何年迄何ヶ年賦一ヶ年金何程ツ、終年何程翌年二月二十八日限返納ノ答

右ハ私義從來貧窮之處何月何日何々ノ災害ニ罹リ畑方損毛ニ及ヒ最早土地家屋ヲ賣却セサレハ地租辨納難行届ニ付拜借金奉願候處書面金員御貸下相成正ニ拜借仕返納之義ハ但書之通無滞返納可仕若シ期限内ニ土地家屋賣却スルハ御規則之通年賦ニ不拘一時上納可仕候仍証券差上申所如件

何郡區何町村何番屋敷

年月日

某

印

縣令宛

前書之通相違無御座候也

郡區長戸長 姓

名 印

●甲第百八十四號 明治十五年十二月十二日

十五年度備荒儲蓄法施行規則及收出豫算郡部會ノ議決ヲ經テ別紙ノ通相定候條此旨布達候事(明治二十一年三月縣令第十八號ヲ以テ施行規則ヲ改定ス)

●甲第百八十五號 明治十五年十二月十二日

十五年度備荒儲蓄法施行規則及収出豫算郡部會ノ議決ヲ經テ別紙ノ通相定候條此旨布達候事(明治二十一年三月縣令第十八號ヲ以テ施行規則ヲ改定ス)

●乙第百八十一號 明治十五年十一月十八日

郡區役所 戸長役場

備荒儲蓄金施行規則ニ據リ地租金貸與補助書式等今般甲第百七十三號及布達候ニ付テハ戸長ハ願人困難ノ事情審查ヲ遂ケ所有地損毛ノ歩合等別紙書式ノ通取調郡區長ニ申告スヘシ郡區長ハ尙實際ヲ點檢シ時宜ニヨリ坪刈ヲモ取計事實全ク相違ナキ者ハ貸與スヘキ金員貸與ハ年賦期限トモ詳查其顛末ヲ具狀スヘシ此旨相達候事(明治二十一年九月縣令第三十號參看)

(別紙) ○印朱書

罹災ニ付田方損毛歩合調査申告書

願人所有之田反別損毛(有無トモ合記ス)

何郡區何町村

一田反別何程

地主

收穫米何程

某 印

地價金何程

地租金何程

(改租收獲米ト見込收獲米ト對照損毛分合ヲ算出ス)

此見込收穫米何程

但損毛歩合何厘何毛余

明治十五年

儲蓄之部

千二百十三

内

反別何程

何筆

無損毛

收穫米何程

地價金何程

反別何程

何筆

損毛上毛

收穫米何程

地價金何程

地租金何程

此見込收穫米何程

反別何程

何筆

損毛中毛

收穫米何程

地價金何程

地租金何程

此見込收穫米何程

反別何程

何筆

損毛下毛

收穫米何程

地價金何程

○同上下毛之分合記スヘシ

坪収平均何合積

○此末ニ記載スル損毛一筆限ノ内  
上毛之分合記スヘシ

○平均収テ反別歩數ニ乘シ春法歩増ノ積  
折中シテ見込收穫米ヲ得ル後做之

○同上中毛ノ分合記スヘシ

地租金何程

反別何程

收穫米何程

地價金何程

地租金何程

右損毛反別一筆限

何村何字何番

田何程

收穫米何程

地價金何程

地租金何程

合損毛反別何程

收穫米何程

地價金何程

地租金何程

外所有財產

○畑方ニ損毛アルキハ田方ノ例ニ準シ取調ヘシ

損毛皆無

○同上皆無之分合記スヘシ

○損毛ニ關ル反別ノミ一筆限  
列記スヘシ

上  
中  
下  
皆無

宅地山林 反別何程 何筆

此地價金何程

此地租金何程

内

何反別何程

地價金何程

地租金何程

何反別何程

地價金何程

地租金何程

他村所有地之分

自村所有地之分

右ハ何月何日何々ノ災害ニ罹リ當村某外幾名地租金補助之議出願ニ付篤ト相糺候處何レモ從來貧窮者ニシテ今般災害ヲ被ムリ最早土地家屋ヲ賣却スルニ非レハ地租辨納難行屆段願之趣相違無之仍而一人別限損毛歩合取調候處書面ノ通有之候條此段申告候也

年月日

右町村

戶長

某

○所有地他村ニ跨ルモノハ該村ノ戶長連署スヘシ

郡區長宛

●甲第三十四號 明治十六年五月七日 郡部備荒儲蓄法施行規則中改正及十六年度収出豫算ノ件

●甲第三十五號 明治十六年五月七日 區部備荒儲蓄法施行規則中改正及十六年度収出豫算ノ件

●甲第五十一號 明治十六年七月五日 備荒儲蓄法施行規則ノ上(十五年度)ト有之四字刪除ノ件

●乙第二百二十八號 明治十八年九月二十五日

郡區役所

戶長役場

凶荒豫備ノ義ニ付テハ本年五月十四日ヲ以テ論達ヲ發シ其二十七日ヲ以テ凶荒圖録ヲ頒チ以テ反覆民心ノ警戒ヲ促シ置候通ニ有之然ルニ目下稻作ノ如キハ充分豐稔ヲ得ヘキ景況ナルヨリ或ハ先ノ論達ヲ以テ大早計ニ屬スルノ感ヲ懷クモノ有之哉モ難計候處右ハ只本年ノ凶歉ヲ慮ルカ爲メ而已ニ無之其期運ノ測知スヘカラサル又其豫備ノ忽諸ニ付スヘカラス今ニシテ貯蓄ノ法ヲ設ケ其非常ニ供セシムルニアラサレハ噬臍ノ悔ナキヲ保タス殊ニ本年ノ如キハ暴風霖雨ノ害アリテ一時甚タ危殆ナリシモ幸ニ氣候順遷シテ殘暑酷烈ナルガ爲メニ禾穀其豐登ヲ得ルノ景況ナリト雖トモ既往ノ徵據ヲ以テ果シテ循環ノ曆數トセハ決シテ休慮スヘキノ時ニアラズ本年意外ノ豐稔ヲ得ヘキハ即チ千載ノ一時實ニ失



フヘカラサルノ好機ニ有之依テ此際少康ニ安スルヲナク益勤儉貯蓄ノ道ヲ勉メ候様猶懇篤部民ヘ示諭可致此旨相達候事

●乙第百五十三號 明治十八年十月三十日

郡區役所 戸長役場

備荒儲蓄法施行規則ニ依リ地租金貸與或ハ補助願書ハ地租納期三十日前戸長ヨリ郡長ヘ差出シ郡區長ハ納期十五日前縣廳ヘ進達スヘシ此旨相達候事

但納期ニ迫リ災害等ニ罹リタルモノハ此限ニアラス

●乙號外 明治十八年十二月九日

郡區役所

各町村凶荒豫備貯蓄金穀毎年十二月現在高ヲ調査シ別紙様式ニ準シ製表シ翌年一月三十日限リ可届出此旨相達候事

(別紙)

何郡區貯蓄物

人口ハ一月一日現在

町村名	組	救	人	口	貯蓄		
					通貨	穀	種
					何々	何々	何々
合計							

但數トハ貯蓄規約或ハ申合テ同一ニ爲セシモノヲ一組トシ若シ數町村ヲ併シテ一組トナシタルモノハ其町村名ノ下ヘ括弧ヲ記スヘシ

●縣令號外 明治二十年三月八日

區部備荒儲蓄法施行規則中改正ノ件(明治二十一年三月縣令第十八號ヲ以テ改正)

●縣令號外 明治二十年三月八日

郡部備荒儲蓄法施行規則中改正ノ件(明治二十一年三月縣令第十八號ヲ以テ改正)

●訓令乙第十四號 明治二十年三月十九日

郡區役所

備荒儲蓄金上納証書ハ明治二十年度ヨリ收稅長宛ニテ差出スヘシ

●縣令第十八號 明治二十一年三月十日

區部郡部備荒儲蓄法施行規則ノ儀區部會及郡部會ノ議決ヲ經テ左ノ通改定シ明治二十一年度ヨリ施行ス(區部共第二第三第四條ヲ改正ス)

區部備荒儲蓄法施行規則

第二章

總則

第一條 儲蓄金ハ政府ノ配付金ト人民ノ公儲金トヲ合シテ儲蓄金ト稱ス

第三章

徵收

第三條 公儲金ハ地租ニ賦課ス其割合ハ地租拾圓ニ付金貳拾貳錢トス

第三條 公儲金ハ其年一月一日現在ノ地租額ニ就キ該地所有者ヨリ之ヲ徵收ス

第四條 公儲金徵收期限前此規則ニヨリ地租ノ補助貸與又ハ救助ヲ受ケタルモノハ其年  
度ニ係ル公儲金ヲ免除ス

第五條 公儲金徵收期限後地租額ノ増減ヲ生スルモ追徵返付セサルモノトス

第三章 管 守  
第六條 儲蓄金ハ縣廳ニ保管シ一ケ年度中供用支出スヘキ豫算金額ヲ除キ其他ハ公債證  
書ニ交換シ置クモノトス

但公債證書ノ利子ヲ受取リタルトキハ公債證書ニ交換スルモノトス

第七條 公債證書ノ賣買等ニ關スル損益ハ總テ儲蓄金ノ損益タルヘシ

第八條 儲蓄金ニ關スル諸般ノ費用ハ儲蓄金ヨリ支辨スルモノトス

第四章 支 給  
第九條 罹災ノ窮民自カラ小屋掛ヲ營ム能ハサルモノニハ小屋掛料トシテ輕キハ一戸金  
三圓以內重キハ一戸金七圓以內ヲ支給ス

第十條 災害ニ罹リ農具種穀ヲ自辨スル能ハサルモノニハ農具種穀料トシテ輕キハ一戸  
金五圓以內重キハ一戸金拾圓以內ヲ支給ス

第十一條 罹災ノ爲メ自カラ生存スル能ハサル者ニハ食料トシテ男一人一日玄米三合  
女一人一日玄米二合  
參ハ六合雜穀ハ九合但七十年以上  
十年以下ハ女ノ割合ヲ以テ支給ス 其日數ハ三十日以內トシ其地前

月下米相場石代ヲ以テ給與ス

第十二條 暴災ニ罹リ目下凍餒ニ迫ル者アルトキハ日數十日以內焚出米ヲ給與シ其災害  
ノ情況ニヨリテハ小屋掛ヲ假設シ一時ノ急ヲ救フコトアルヘシ

但焚出米額ハ第十一條ノ制限ニ從ヒ其鹽硝薪炭等ハ實際消費ノ金額ニ依ル尤本條施  
行ノ日限ハ第十一條ノ日限以內ニテ差引給與ス

第五章 地租ノ貸與補助  
第十三條 非常ノ凶荒若クハ不慮ノ災害ニ罹リ土地家屋ヲ賣却スルニアラサレハ地租ヲ  
納ムル能ハサルモノハ實地ノ情況ヲ審査シ其輕重ヲ量リ地租ノ全額若クハ幾分ヲ無利

足五ケ年以內年賦返納ノ定メテ以テ之ヲ貸與ス

第十四條 非常ノ凶荒又ハ連年ノ罹災等ニテ年賦返納ノ目途ナキモノハ其地租ノ幾分又  
ハ其全額ヲ補助スルコトアルヘシ

第十五條 地租ノ貸與ヲ受ケタルモノハ借用證書ヲ差出スモノトス

第十六條 地租ノ貸與年期中再度不慮ノ災害ニ遭遇シ返納シ能ハサルモノハ該年返納金  
ハ順次年延トナスコトアルヘシ

第十七條 地租ノ貸與年期中非常ノ凶荒又ハ連年不慮ノ災害ニ遭遇シ返納シ能ハサルモ  
ノハ該年ノ返納金又ハ返納殘金悉皆免除スルコトアルヘシ

第十八條 貸與年限中重テ災害ニ罹リ地租ヲ納ムル能ハサルモノハ第十三條第十四條

ニ準シ貸與若クハ補助スルコトアルヘシ尤再度貸與ノ分ハ舊年賦ノ金額納濟ノ翌年ヨリ更ニ年限ヲ起算スルモノトス

第十九條 年賦返納期限内ニ土地家屋ヲ賣却スルモノハ其貸與ノ金額ヲ一時ニ返納スルモノトス

但土地家屋ヲ賣却スルモ猶幾分ノ殘餘アリテ返納ノ目途アルモノハ此限ニアラス

第二十條 貸與金年賦返納ノ期限ハ該年分ヲ翌年一月一日ヨリ同二月二十八日迄ヲ限リトス

第二十一條 此規則ハ改正剛補等ヲ要スルコトナキトキハ連年通シテ履行スルモノトス 郡部備荒儲蓄法施行規則

第一章 總 則

第一條 儲蓄金ハ政府ノ配付金ト人民ノ公儲金トヲ合シテ儲蓄金ト稱ス

第二章 徵 收

第二條 公儲金ハ地租ニ賦課ス其割合ハ地租拾圓ニ付金貳拾貳錢トス

第三條 公儲金ハ其年一月一日現在ノ地租額ニ就キ該地所有者ヨリ之ヲ徵收ス

第四條 公儲金徵收期限前此規則ニヨリ地租ノ補助貸與又ハ救助ヲ受ケタルモノハ其年度ニ係ル公儲金ヲ免除ス

第五條 公儲金徵收期限後地租額ノ増減ヲ生スルモ追徵返行セサルモノトス

第三章 管 守

第六條 儲蓄金ハ縣廳ニ保管シ一ケ年中供用支出スヘキ豫算金額ヲ除キ其他ハ公債證書ニ交換シ置クモノトス

但公債證書ノ利子ヲ受取リタルトキハ公債證書ニ交換スルモノトス

第七條 公債證書ノ賣買等ニ關スル損益ハ總テ儲蓄金ノ損益タルヘシ

第八條 儲蓄金ニ關スル諸般ノ費用ハ儲蓄金ヨリ支辨スルモノトス

第九條 第六條ニ記載スル支出豫算金額ノ内其額十分ノ八ヲ公債證書ニ交換シ置キ十分ノ二ハ縣廳ニ備ヘ置クモノトス

第四章 支 給

第十條 罹災ノ窮民自カラ小屋掛ヲ營ム能ハサルモノニハ小屋掛料トシテ輕キハ一戸金三圓以內重キハ一戸金七圓以內ヲ支給ス

第十一條 災害ニ罹リ農具種穀ヲ自辨スル能ハサルモノニハ農具種穀料トシテ輕キハ一戸金五圓以內重キハ一戸金拾圓以內ヲ支給ス

第十二條 罹災ノ爲メ自カラ生存スル能ハサルモノニハ食料トシテ男一人一日玄米三合參ハ六合雜穀ハ九合但七十以上 女一人一日玄米二合參ハ四合雜 其日數ハ三十日以內トシ其地前十年以下ハ女ノ割合ヲ以テ給ス

第十三條 暴災ニ罹リ目下凍餒ニ迫ル者アルトキハ日數十日以內焚出米ヲ給與シ其災害月下米相場石代ヲ以テ給與ス

ノ情况ニヨリテハ小屋掛ヲ假設シ一時ノ急ヲ救フコトアルヘシ  
但焚出ノ米額ハ第十二條ノ制限ニ從ヒ其鹽噌薪炭等ハ實際消費ノ金額ニ依ル尤本條  
施行ノ日限ハ第十二條ノ日限内ニテ差引給與ス

第五章

地租ノ貸與補助

第十四條 非常ノ凶荒若クハ不慮ノ災害ニ罹リ土地家屋ヲ賣却スルニアラサレハ地租ヲ  
納ムル能ハサルモノハ實地ノ情况ヲ審査シ其輕重ヲ量リ地租ノ全額若クハ幾分ヲ無利  
足五ヶ年以内年賦返納ノ定メヲ以テ之ヲ貸與ス

第十五條 非常ノ凶荒又ハ連年ノ罹災等ニテ年賦返納ノ目途ナキモノハ其地租ノ幾分又  
ハ其全額ヲ補助スルコトアルヘシ

第十六條 地租ノ貸與ヲ受ケタルモノハ借用證書ヲ差出スモノトス

第十七條 地租ノ貸與年期中再度不慮ノ災害ニ遭遇シ返納シ能ハサルモノハ該年返納金  
ハ順序年延トナスコトアルヘシ

第十八條 地租ノ貸與年期中非常ノ凶荒又ハ連年不慮ノ災害ニ遭遇シ返納シ能ハサルモ  
ノハ該年ノ返納金又ハ返納殘金悉皆免除スルコトアルヘシ

第十九條 貸與年限中重テ災害ニ罹リ地租ヲ納ムル能ハサルモノハ第十四條第十五條  
ニ準シ貸與若クハ補助スルコトアルヘシ尤再度貸與ノ分ハ舊年賦ノ全額納濟ノ翌年ヨ  
リ更ニ年限ヲ起算スルモノトス

第二十條 年賦返納期限内ニ土地家屋ヲ賣却スルモノハ其貸與ノ金額ヲ一時ニ返納スル  
モノトス

但土地家屋ヲ賣却スルモ猶ホ幾分ノ殘餘アリテ返納ノ目途アルモノハ此限りニアラ  
ス

第二十一條 貸與金年賦返納ノ期限ハ該年分ヲ翌年一月一日ヨリ同二月二十八日迄ヲ限  
トス

第二十二條 此規則ハ改正刪補ヲ要スルコトナキトキハ連年通シテ履行ルモノトス

●縣令第三十號

明治二十一年五月三日

備荒儲蓄金救助補助貸與ニ係ル出願及取扱順序左ノ通相定ム

備荒儲蓄金救助補助貸與ニ係ル出願及取扱順序

一 食料小屋掛料農具料種穀料等ノ給與ヲ受ケントスルモノハ罹災ノ顛末ヲ詳記シ所有ノ  
財產明細書ヲ添へ其罹災ノ當日ヨリ十日以内ニ區ハ區長へ郡ハ戶長住地ト罹災地ト所轄ヲ異  
ニスルモノハ各其戶長ヲ  
經由ステ經テ郡長へ出願スヘシ但農具料又ハ種穀料ノ給與ヲ請フモノハ作地名反別及  
農具ノ品目並ニ見積代價調書ヲ添付スヘシ郡區長ニ於テハ事實ヲ審査シ其支給ヲ要ス  
ルモノト視認スルトキハ成規ニ照シ之ヲ支給スヘシ

一 地租ノ補助又ハ貸與ヲ受ケントスルモノハ其金員及罹災ノ顛末等ヲ明治十五年甲第  
百七十三號布達願書式ニ據リ記載シ尙損亡ニ係ル地名反別地價地租等貸與ニ係ルモノハ詳  
ハ返納年期トモ

記シタル調書及財産明細書ヲ添ヘ區ハ區長ヘ郡ハ戶長<sup>住地ト福英地ト所轄ヲ異ニテ經テ郡長</sup>ニテ經テ郡長  
ヘ差出スヘシ郡區長ニ於テハ其實質ヲ審查シ意見書ヲ添ヘ縣廳ヘ進達スヘシ  
一地租賃與金ハ毎年返納期限ニ從ヒ區ハ區役所ヘ郡ハ戶長役場ヘ上納スヘシ戶長ハ之ヲ  
郡役所ヘ納メ郡區長ハ之ヲ縣廳ヘ送納スヘシ

●縣令第三號 明治二十二年二月五日  
明治二十一年三月縣令第十八號區部郡部備荒儲蓄法施行規則中區部會郡部會ノ議決ヲ經テ  
左ノ通改正ス

(區部)

第二條 公儲金ハ地租ニ賦課ス其割合ハ地租拾圓ニ付金貳拾壹錢五厘トス

第三條 公儲金ハ其年一月一日現在ノ地租額ニ依リ其年三月十五日限土地所有者ヨリ本  
年度分ヲ前収ス

第四條 前年度内ニ於テ地租ノ補助貸與又ハ救助ヲ受ケタルモノハ本年度分ノ公儲金徵  
收ヲ免除ス

(郡部)

第二條 公儲金ハ地租ニ賦課ス其割合ハ地租拾圓ニ付金貳拾壹錢五厘トス

第三條 公儲金ハ其年一月一日現在ノ地租額ニ依リ其年三月三十一日限土地所有者ヨリ  
本年度分ヲ前収ス

第四條 前年度内ニ於テ地租ノ補助貸與又ハ救助ヲ受ケタルモノハ本年度分ノ公儲金徵  
收ヲ免除ス

愛知縣布達全書前編畢

明治二十三年二月十五日印刷  
明治二十三年二月十五日出版

編輯人

高島文吉

愛知縣名古屋市大坂町七十四番戶

發行兼  
印刷人

山田良彌

全縣全市傳馬町六十番戶

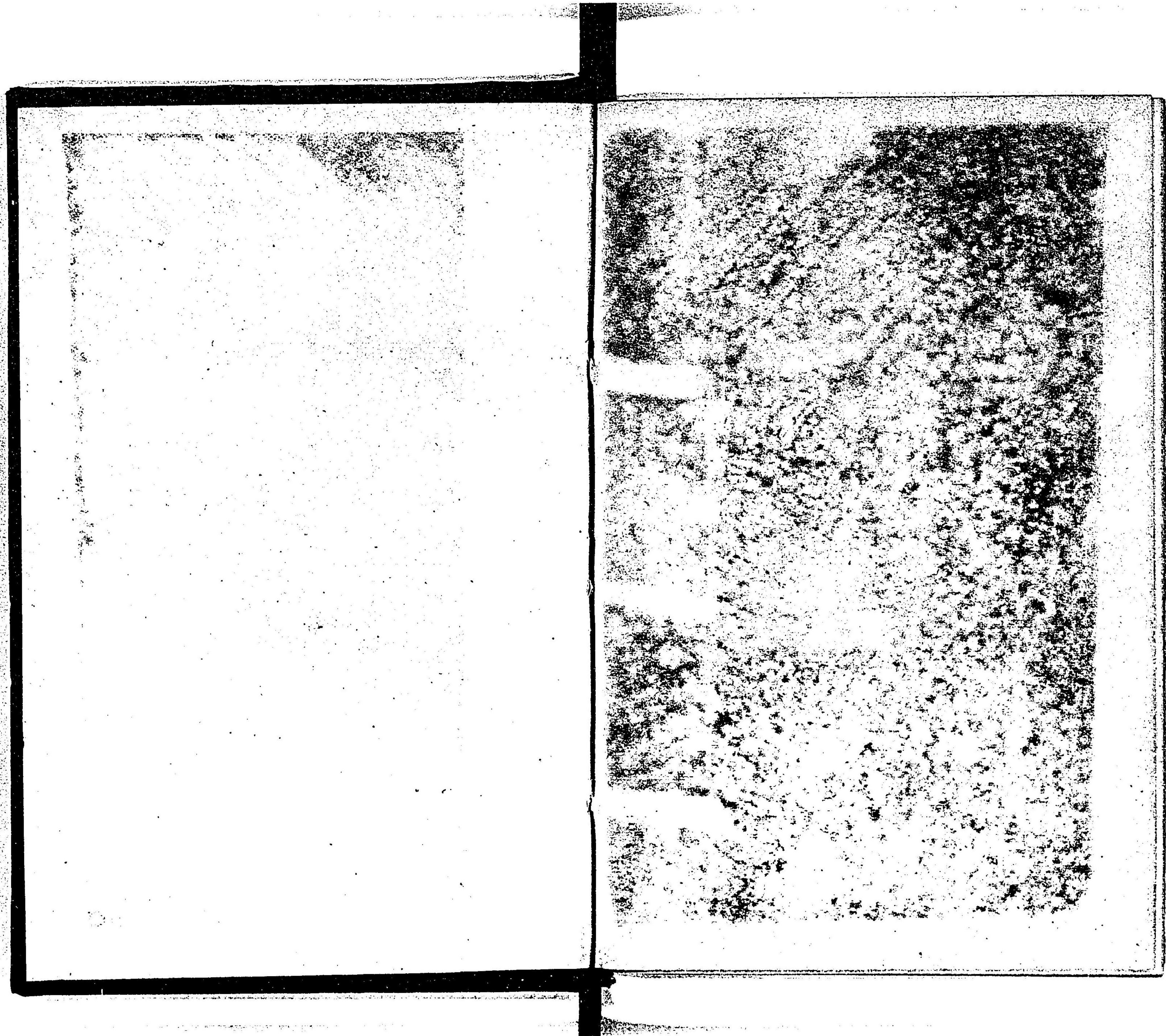
發賣所

一誠社

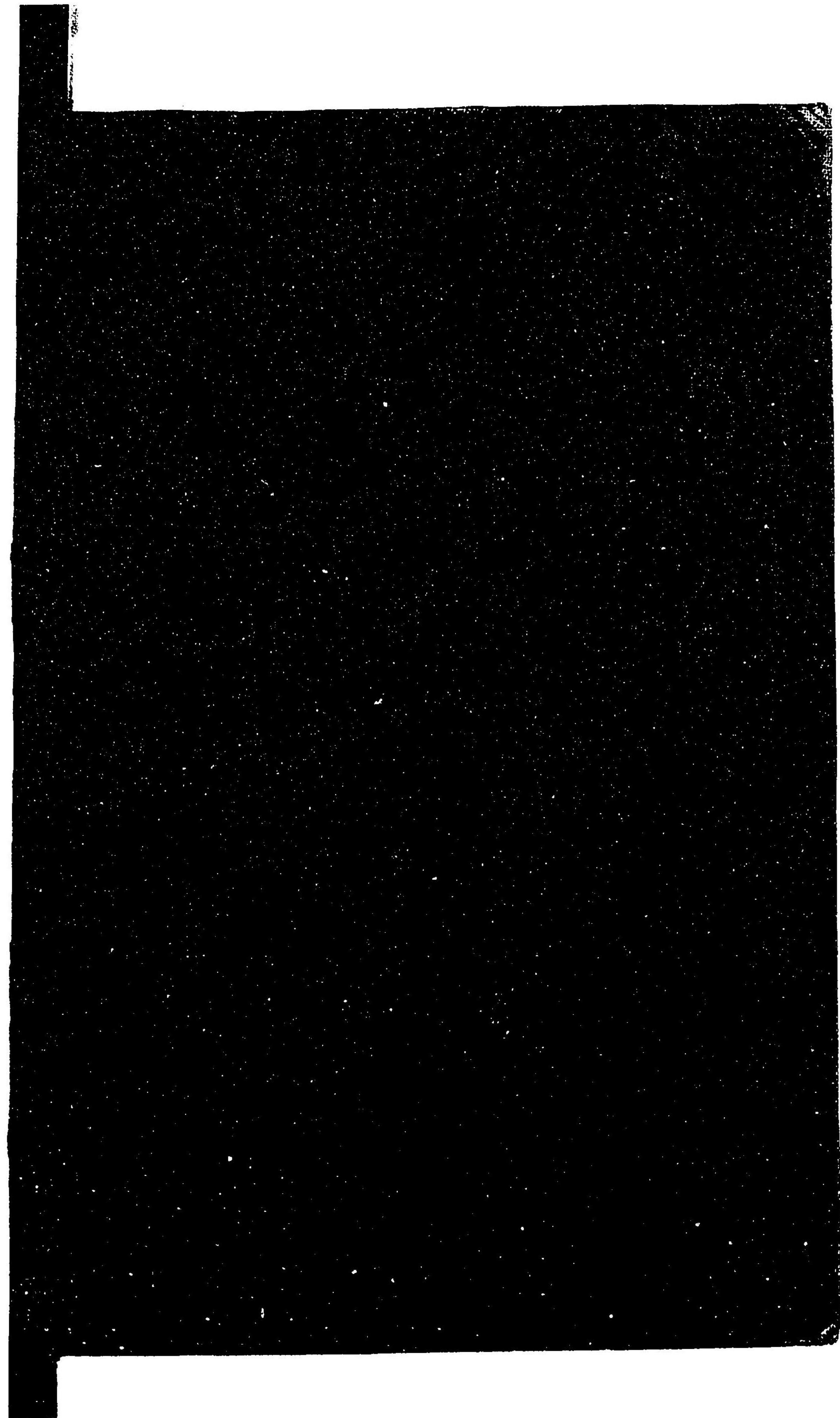
全縣全市傳馬町五丁目

御前二十二年二月廿五日御筆

奏賀  
御前  
御筆  
御前  
御筆  
御前  
御筆  
御前  
御筆







031156-001-5

CZ-1113-62-02

愛知県布達全書

高島 文吉/編

前

M23

BBD-0005



